



応援しよう! 「水球のまち」柏崎

ウォーターポロクラブ柏崎

応援定期預金

BOURBON
WATER POLO CLUB
KASHIWAZAKI
ブルボンウォーターポロクラブ柏崎

預入総額の0.01%を支援金として「一般社団法人ウォーターポロクラブ柏崎」へ寄贈します。

お取扱期間

平成
30年

5月1日(火)~8月31日(金)

2020年まで随時発売します(次回以降の発売予定:2018年冬、2019年夏、2019年冬、2020年夏)

適用金利

今回募集分は秋に行われる日本選手権水泳競技大会(水球競技)に参加するブルボンウォーターポロクラブ柏崎(男子)の順位により変動します!

みんなで
応援しよう!

優勝の場合

準優勝の場合

0.1%

0.2%

3位以下の場合

0.05%

対象者:個人および法人 個人:複利型 / 法人:単利型 お預け入れ期間:3年 ※証書のみ

※初回お預け入れ期間のみ特別金利となります。

※初回満期日以降の金利は、通常の店頭表示金利を適用します。

※お利息は20.315%(国税15.315%、地方税5%)の源泉分離課税となります。

※法人は総合課税となります。

※法人名義でのご契約は中間利払いが発生するため、利払い口座のご指定が必要となります。



お預入れ
金額

30万円以上 900万円以下

今回募集総額
30億円

※本定期預金は、新たに当金庫にお預けいただく定期預金を対象とさせていただきます

原則、中途解約はできません。やむを得ず中途解約された場合は当金庫所定の中途解約利率が適用されます。

●この預金は預金保険制度の対象商品です。(当金庫に複数の口座がある場合には、それらの預金元本を合計して1,000万円までとのお利息の合計額が保護されます。)

柏崎しんきん

■本店 TEL 0257-22-2101 FAX 0257-22-7089
■諏訪町支店 TEL 0257-23-2236 FAX 0257-24-4659
■四谷支店 TEL 0257-23-3530 FAX 0257-24-4660
■出雲崎支店 TEL 0258-78-3101 FAX 0258-78-3889

■南支店 TEL 0257-24-1551 FAX 0257-24-4264
■半田支店 TEL 0257-24-8211 FAX 0257-24-4519
■東支店 TEL 0257-32-2040 FAX 0257-32-2041

<http://www.ksbank.jp/>

柏崎しんきん 検索

みなさんの声がか力になります。ご声援をお願いします。



(一社)ウォーターポロクラブ柏崎
理事長 西川 正純

柏崎市民のみなさま、協賛企業、行政機関等の多くの方々に支えられて当クラブは平成22年に発足以来、日本選手権の優勝、オリン

ピック選手の輩出を実現し、地域に根差したスポーツの振興・水球競技の普及を図り、全国の注目を集めております。

おかげさまで昨年(2017年)10月2日をもちまして一般社団法人としてスタートを切ることができました。

支配下選手は150名に迫り、2020年の東京オリンピックに向けて選手も日々、練習を積み重ねております。

当クラブの活動にご理解とご協力を頂きながら、引き続きのご声援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ブルボン
代表取締役社長 吉田 康

当社は、食の提供を通じて豊かな生活と健康への寄与など、皆様の幸せな生活に関わるとともに「心と体の健康づくり」をテーマに「文化・芸術」や「スポーツ」などの支援活動に取り組んでおります。このような中で、長年、

柏崎で育まれてきた水球の伝統を発展させ、世界を目指して頑張るアスリートをサポートし、スポーツの力による一体感や笑顔づくり、地域の活力を生み出す活動を推進してまいりました。

さて、「水球のまち柏崎」は、オリンピックの輩出や潮風カップなど全国大会の開催により注目されています。さらに地域に根差した活動としていくためには、企業はもとより市民の皆様の一層のご支援をいただくことが不可欠であると考えております。

ぜひ、この機会に伝統ある水球に関心を持っていただくとともに、「ウォーターポロクラブ柏崎」のクラブ活動推進にご協力をいただきたいと思います。

活動方針



私たちブルボンウォーターポロクラブ柏崎(以下ブルボンKZ)は日本選手権優勝を目指し、日々鍛錬しています。2015年にはジュニア水球チームであった、柏崎アクアクラブと統合し、総勢150名のビッグクラブへと成長しました。小学生から社会人まで一貫してレベルの高い水球指導を行うことで、柏崎から日本代表を輩出するべく、日々努力しています。さらに、強化にとどまることなく、全国の小学校へ水球教室を行うことで、水球の普及活動にも積極的に努めています。

- ジュニアから社会人までの一貫教育
- 充実したトレーニング環境
- オリンピック選手強化
- 全国の水球普及活動に貢献

ブルボンKZは、日本一獲得はもちろん、世界で戦える選手の育成にも力を入れています。社会人チームは年1回海外遠征を行い、多くの海外チームが柏崎へ。

日本選手権では世界で活躍する選手と共に戦い日本一を目指すことで、間近で世界トップクラスのプレーを見ることはもちろん、世界の水球を肌で感じることができます。

さらに元モンテネグロ代表監督がチームの指揮をとり、世界の戦術、プレーを身近で学べるようになりました。

また現在4名の選手を海外のクラブチームに派遣中です。

1962 KASHIWAZAKI

柏崎の水球は、1964年の第19回新潟夏季国体に柏崎市が水球の会場として選ばれたことから始まります。当時の柏崎には水球チームが無く、市内の中学校の水泳選手を柏崎高校に集中入学させ、1962年(昭和37年)に柏崎高校水泳部水球チームが編成されました。当時、東京教育大学(現筑波大学)水球部キャプテンの内田力氏が指導者に抜擢され、集中的なチーム強化により、優勝候補と言われるまで実力をつけたチームは、大会目前に起こった新潟地震により、国体優勝という夢は潰えることとなりました。そのような中、市主催の全国高校選抜水球競技大会を(8月24日)柏崎市営総合プールで開催してもらえらることになり、うっぶんを晴らすかのごとく柏崎高校チームは爆発し、見事に全勝優勝を成し遂げました。

さらに1964年(昭和39年)第32回日本高等学校水泳競技大会水球の部(インターハイ)で念願の初優勝を遂げ、翌1965年(昭和40年)第33回インターハイでも2連覇を成し遂げ黄金時代を築き上げました。後に1968年(昭和43年)のメキシコ、1972年(昭和47年)のミュンヘンオリンピックに出場した矢島秀三氏も当時のメンバーの一人でありました。その後、50年間柏崎の水球は一度も途絶えることはありませんでした。そして2010年、青柳GMのもとブルボンKZが発足、日本最大級のクラブチームへと成長しました。このように柏崎の水球は常に誰かの手によって支えられ受け継がれている、まさに伝統であり、今後も絶やすことなく、受け継ぎ続けなければならないものなのです。